

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	体育科教育法		
担当者(Instructors)	伊藤 数馬	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

<b>■ 授業の目的と概要 (Course purpose/outline)</b>			
<p>小学校における体育科学習指導の目標と内容、指導計画、学習指導法について学習する。運動は、発育発達の著しい小学生にとって、特に重要な役割を持つため、学習指導要領の内容を十分に理解し、各運動の特性を踏まえた指導のあり方について学習する。理論にもとづき授業を計画・実践するための基本的な知識を提供することとともに、教材研究、模擬授業の実践、講評などを通して、体育科の指導力を養う。</p>			

<b>■ 授業形態・授業の方法 (Class form)</b>	
授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習及び講義形式で行う。指導案の作成や模擬授業の振り返りなどにおいてディスカッション及びグループワークを取り入れる。

<b>■ 各回のテーマとその内容 (Each theme and its contents)</b>			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	体育科の目標及び内容	体育科の目標及び内容について、学習し考察する。	<input type="checkbox"/>
第2回	各学年の目標及び内容 第1・2学年 (1) 目標及び内容	第1・2学年の目標及び内容について、学習し考察する。	<input type="checkbox"/>
第3回	各学年の目標及び内容 第1・2学年 (2) 学習の評価と教材研究、情報機器及び教材の効果的な活用法	第1・2学年の目標及び内容、またその学習の評価と教材研究、情報機器及び教材の効果的な活用法について、学習し考察する。	<input type="checkbox"/>
第4回	各学年の目標及び内容 第3・4学年 (1) 目標及び内容	第3・4学年の目標及び内容について、学習し考察する。	<input type="checkbox"/>
第5回	各学年の目標及び内容 第3・4学年 (2) 学習の評価と教材研究、情報機器及び教材の効果的な活用法	第3・4学年の目標及び内容、またその学習の評価と教材研究、情報機器及び教材の効果的な活用法について、学習し考察する。	<input type="checkbox"/>
第6回	各学年の目標及び内容 第5・6学年 (1) 目標及び内容	第5・6学年の目標及び内容について、学習し考察する。	<input type="checkbox"/>
第7回	各学年の目標及び内容 第5・6学年 (2) 学習の評価と教材研究、情報機器及び教材の効果的な活用法	第5・6学年の目標及び内容、またその学習の評価と教材研究、情報機器及び教材の効果的な活用法について、学習し考察する。	<input type="checkbox"/>
第8回	指導計画の作成と内容の取扱い (1) 指導計画作成上の配慮事項、内容の取扱い	指導計画の作成と内容の取扱いについて、指導計画作成上の配慮事項を学習し考察する。	<input type="checkbox"/>
第9回	指導計画の作成と内容の取扱い (2) 学習指導案の作成、グループ討議	指導計画の作成と内容の取扱いについて、指導案を作成し、グループ討議を行う。	<input type="checkbox"/>
第10回	模擬授業 (1) 授業実践、質疑応答及び講評 低学年を対象とした模擬授業	低学年を対象とした模擬授業を実践し、その後質疑応答及び講評を行う。	<input type="checkbox"/>
第11回	模擬授業 (2) 授業実践、質疑応答及び講評 中学年を対象とした模擬授業	中学年を対象とした模擬授業を実践し、その後質疑応答及び講評を行う。	<input type="checkbox"/>
第12回	模擬授業 (3) 授業実践、質疑応答及び講評 高学年を対象とした模擬授業	高学年を対象とした模擬授業を実践し、その後質疑応答及び講評を行う。	<input type="checkbox"/>
第13回	模擬授業 (4) 授業実践、質疑応答及び講評 器械運動の模擬授業	器械運動における模擬授業を実践し、その後質疑応答及び講評を行う。	<input type="checkbox"/>
第14回	模擬授業 (5) 授業実践、質疑応答及び講評 表現運動・表現リズム遊びの模擬授業	表現運動・表現リズム遊びにおける模擬授業を実践し、その後質疑応答及び講評を行う。	<input type="checkbox"/>
第15回	本講義のまとめ	本講義で扱った内容をまとめ、理解を確認する。	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前学習については、学習指導要領を精読し、各回のテーマの内容を事前に理解する(2時間程度)。事後学習については、学習した内容を各自ノートにまとめ、模擬授業の計画立案に活用できるようにする(2時間程度)。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

課題に対するレポートについては、まとめて翌週フィードバックし、全体で共有する機会を持つことで理解を深める。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019子ども発達DP1	小学校体育科における基本的知識を体系的に理解することができる
思考力・判断力・表現力	◇ 2019子ども発達DP2	運動の特性とそれに応じた教材についての理解を深めることができる
主体性	◇ 2019子ども発達DP3	各学年に対応した学習指導案を作成し、授業することができる

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			20%	80%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

授業内小テスト(20%) 模擬授業の実践・指導案の作成(60%)

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	「小学校学習指導要領 体育」(平成29年3月告示 文部科学省)	
2	「小学校学習指導要領解説 体育編」文部科学省(東洋館出版社)	
3	「小学校体育(運動領域)指導の手引【中学年】～楽しく身に付く体育の授業～」(東洋館出版社)	978-4491053615
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業中に適宜資料を配布する。	
2		
3		
4		
5		